

たどつのもかし

Vol. 14

☆町指定「宝篋印塔」が移設されました☆



右端が町指定有形文化財「宝篋印塔」

多度津町指定文化財のなかに「宝篋印塔(ほうきょういんとう)」があります。今回、南鴨にある加茂(賀茂)神社の境内に移設されました。

宝篋印塔とは、「宝篋印陀羅尼經(ほうきょういんだらにきょう)」を納めた塔であるとされており、三世一切(過去・現在・未来の全て)の諸仏の全身舍利(仏の遺骨)を納めたものとされています。この塔を礼拝することによって罪障(ざいしょう)が消滅し、苦を免(まぬ)かれ、長寿を得るとされています。

この宝篋印塔は南鴨地区にある法泉寺跡(ほうせんじあと)より出土しました。基礎には「文安二年(1445年)乙丑(きのとうし)年八月十七日」と刻銘されており、室町時代後期頃に造られたと考えられます。

現在の場所には、同じく法泉寺跡から出土したもう2基の宝篋印塔も置いてあり、以前の場所より見学しやすくなりましたので、ぜひ見に来てください。